

—環境と平和 そして美しい地球を守ろう—

# みどりのコンサート 23

混声合唱とピアノのための

## つぶてソング

詩 和合 亮一 作曲 新実 徳英

ふるさとは あなたにとって どんなものですか  
もしも 迷っているのなら こう答えると良い

ふるさとは夕暮れ

2014年4月29日(火・祝)  
開場 13:30  
開演 14:00  
神戸新聞松方ホール



主催／みどりのコンサート 23 実行委員会 協賛／アースデーひょうご

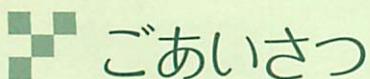
後援／神戸市・神戸市教育委員会・(公財)神戸市民文化振興財団・神戸新聞社・読売新聞神戸総局・朝日新聞神戸総局・毎日新聞神戸支局・サンテレビジョン  
関西合唱連盟・兵庫県合唱連盟(順不同)

お問合せ／神戸市役所センター合唱団

〒652-0882 神戸市兵庫区芦原町 2-1-23 TEL 078-672-1015 FAX 078-672-1014 <http://center-choir.jp/> e-mail kobe@center-choir.jp

ご案内ごお願い

・公演中の写真・ビデオの撮影・録音などは固くお断りいたします。また、携帯電話は電源を切るか、マナーモードにしてください。



## ごあいさつ

本日はお忙しいなかをお越しくださいましてありがとうございます。

神戸市役所センター合唱団では、環境団体の「アースデーひょうご」と共催で、毎年4月29日の旧みどりの日(現昭和の日)に「環境と平和」を考える「みどりのコンサート」を開催し2014年で23回目を迎えることになりました。

「みどりのコンサート」は、1992年にブラジルで開催された「地球サミット」(国連環境会議)に日本から歌手の早見優さんほか7名による「地球環境を考える日本の音楽家たち」が参加し、団からもその一員として市来崎佳子を派遣したことを契機に、この年から毎年同時期に開催してきたものです。

本日は3.11から3年を迎え、今もなお不自由な仮設住宅を強いられ、先の見えない放射能汚染という不安と恐怖に包まれる被災地へのエールとして混声合唱とピアノのための「つぶてソング」から6曲抜粋して演奏いたします。つぶてソングは福島の詩人・和合亮一さんがツイッター上で被災地の惨状を発信した「詩の疊(つぶて)」に友人の作曲家・新実徳英氏が「歌の力を借りて、全国に“気”を送りたい」との願いを込めて作曲した作品です。被災地では復興にむけて懸命の努力が続けられていますが、原発事故の深刻な影響もあり、いまだに26万人を超える方々(内、県外避難者約57,000人)が避難生活を余儀なくされており(兵庫県内にも200名近い方々が避難されています)、復旧・復興への道のりは厳しいものがあります。

私たち神戸市役所センター合唱団も本日演奏する太鼓衆団輪田鼓とともに3年前の5月の連休に南三陸町、女川町、仙台の6ヶ所の避難所まわりコンサートを行い、翌年の3月には南三陸町平成の森ホールで「震災1周年復興祈念コンサートわが町よ永遠(とわ)に」を南三陸町・神戸市の後援を得て開催、町長はじめ仮設住宅の被災者300人の方々に参加していただきました。コンサートでは、本会場にピアノを寄贈された元宝塚歌劇団のトップスター和央ようかさんも特別出演していただくことができました。

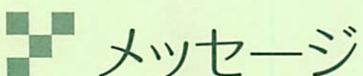
本日のコンサートのためにご多忙の中を来神して下さいました新実徳英先生はじめ「つぶてソング」をうたう合唱団の皆様方に心からお礼申し上げます。

うたのもたらす力、生きる力を聴いてくださるみなさま方と共に、ふるさとの一日も早い再生に向けて演奏させていただきます。  
どうぞ最後まで、ごゆっくりとお楽しみください。



2014年4月29日

神戸市役所センター合唱団 団長 田 中 嘉 治



## メッセージ



新実徳英(作曲家)

みどりのコンサート23の開催、おめでとうございます。

「環境と平和、そして美しい地球を守ろう」とのテーマが掲げられています。

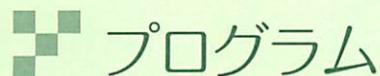
この当たり前のことを声高々に宣言せねばならぬ厳しい時代を迎えつつあることを実感します。すでに私たちは、ひょっとしたら半永久的に足を踏み込めぬ大地をこの国土に作ってしまったのです。このことをとても辛く思います。

音楽や歌に何が出来るかわかりませんが、少なくともその思いを、そしてより佳きものへ向かおうという思いを確かめ合うことが出来るでしょう。

本日、皆で歌い合い聴き合うことが新たな一步に繋がるよう願っています。

## スタッフ

- 舞台監督・企画・構成／田中嘉治 ○司会／黒川淳子 ○音響・照明：会館スタッフ
- 練習指揮者／増田健一（須磨ニュータウン少年少女合唱団指揮者・兵庫県合唱連盟副理事長）
- 練習ピアニスト／井上 由子



# プログラム

## 第1部

### ●和 太 鼓／太鼓衆団輪田鼓

花がたみ

あま

海ひらく大輪田

作詞／玉村 武

作調／田中嘉治

### ●ごあいさつ／小山英二(アースデーひょうご 事務局長)

### ●合 唱／神戸市役所センター合唱団・みどりのコンサート合唱団

混声合唱とピアノのための「いのちの木を植える」より4章「木を植える」

指揮／浅井敬壹 ピアノ／藤澤篤子

## 第2部

### ●合 唱／豊中混声合唱団 豊中少年少女合唱団

葉っぱのフレディー

指揮／西岡茂樹 ピアノ／武知朋子

### ●みんなで歌いましょう

♪自由よ ♪大きなうた

司会／北川秀樹・池本富美子 ピアノ／東浦みちよ ギター／田中嘉治

## 休 憩

### ●記念トーク／新実徳英 浅井敬壹

### ●合 唱／新実徳英の指揮で歌う合唱団

(神戸市役所センター合唱団・みどりのコンサート合唱団・豊中混声合唱団・  
東播センター合唱団)

混声合唱曲集「空に、樹に…」より「生きる」

風を返して土を返して

指揮／新実徳英 ピアノ／井上由子

## 第3部

### ●合 唱／つぶてソングをうたう合唱団

(神戸市役所センター合唱団・みどりのコンサート合唱団・豊中混声合唱団・

衛都連合唱団・東播センター合唱団)

混声合唱とピアノのための「つぶてソング」より

あなたはどこに フルサト 燃えあがろう 誰もいない福島

街を返せ 重なり合う手と手

カンタータ「土の歌」より「大地讃頌」

指揮／浅井敬壹 ピアノ／藤澤篤子

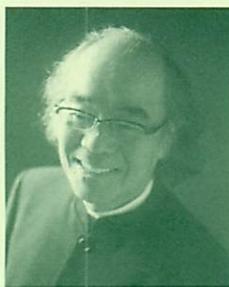
# プロフィール



## 新実 徳英

東京芸術大学作曲家卒業。同大学院終了。77年ジュネーブ国際バレエ音楽作曲コンクールにて史上二人目のグランプリ並びにジュネーブ市賞を受賞。第55回尾高賞受賞。管弦楽作品の多くは、NHK交響楽団、スイス・ロマンド、フランス国立放送等々、国内外の主要なオーケストラにより演奏され、高い評価を得ている。

現在、桐朋学園大学院大学教授。東京音楽大学客員教授。東北震災復興を願って、被災者の思いを合唱曲「つぶてソング」として発信し続けている。



## 浅井 敬壹

2歳より8歳まで中国吉林省(旧満州)にて育ち、終戦で引き揚げる。中学2年より合唱指揮を始め、同志社大学在学中、186名を抱える同志社グリークラブの指揮者を務め、卒業後の12月「千年の古都・京都に世界一の合唱団を」の理想を掲げ“合唱団京都エコー”を結成。

全日本合唱コンクールでは、合唱団京都エコー(20年連続金賞受賞)、住友金属混声合唱団(13年連続金賞受賞)を率い、金賞受賞は合計38回、うちコンクール大賞(部門を越えて最も優れた団体に贈られる)を6度受賞。

現在、合唱団京都エコー、新日鐵住金混声合唱団、女声合唱団かがやきほか、10団体を指揮。自らの体験から、戦争を二度と起こしてはならないとの強い信念を持ち、合唱音楽を通してその思いを伝えることをライフワークとしている。

全日本合唱連盟理事長。関西合唱連盟理事長。京都府合唱連盟理事長。全日本合唱センター館長。日本合唱指揮者協会相談役。国際合唱連合(IFCM)理事。福島県しゃくなげ大使。国民文化祭実行委員(文化庁)。京都コンサートホール企画運営委員。自称サントリー宣伝大使。



## 藤澤 篤子

相愛女子大学(現 相愛大学)音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。故武田邦夫、故井口基成、志賀宗三郎の各氏に師事。

4台のピアノコンチェルト(バツハ)、デュオコンサート、その他、声楽家及び多くの合唱団とコンサートやリサイタル、CD録音での協賛等、多方面で活躍している。2002年2月に開催された《サウンド・ルート2002日本↔ロシヤ》にて、高嶋みどり作曲「マウイの風 ピアノのための」を初演し、好評を得た。

合唱団京都エコーとも、演奏会や東芝EMIの「日本の四季」、ピクターエンタテイメントの「方舟」「風に鳴る笛」等のCD収録などで多数共演している。

現在、合唱団京都エコー、住友金属混声合唱団をはじめ、関西の高校、大学から職場・一般にいたる全国レベルの合唱団、数多くのアマチュア合唱団のピアニストとして活躍中。

関西合唱連盟長井賞受賞。



## 井上 由子

大阪音楽大学器楽部ピアノ科卒業。

ハンブルクコンセルヴァトリウム 伴奏科 卒業。

本岡浩子、右近恭子、ヘニング・ルチウスの各氏に師事。

現在、声楽や器楽、合唱などの伴奏、及び、ピアノ講師としても、つとめる。

## 豊中混声合唱団



今年創団73周年。定期演奏会は53回を数える。「伝統の継承」と「新しい音楽の創造」の調和がとれた合唱団として高い評価を得ている。70名を超えるメンバーは年齢層も幅広く、仕事や学業と両立しながら「美しく豊かな日本語による深い精神性のある音楽」を「多様な価値観を持った団員が豊かに混じり合って作りだす」ことを音楽方針としている。定期演奏会や合唱コンクールを中心に、様々なコンサートや地域の音楽活動にも取り組む。音楽監督兼常任指揮者は西岡茂樹が務めている。

## 豊中少年少女合唱団

「子どもだからこそ、本物の第一級の合唱作品を歌おう」を合い言葉に、豊中混声合唱団の支援の下、2001年2月に結成。団員は、小学1年生から高校3年生までの約35名。豊中市のみならず、宝塚市、川西市、吹田市、尼崎市、大阪市などからも参加しており、毎土曜日の午後、楽しく、真剣に練習している。豊中混声との共演や親子が共に歌う機会があること、高い技術力がなくても歌える、深く豊かな音楽性に満ちた曲を委嘱していることが特徴である。これまでに12回の定期演奏会を開催、その中で多くの委嘱初演を成功させている。宝塚国際室内合唱コンクールのシーターピース部門において金賞1回、銀賞2回、関西合唱コンクールでは銀賞を受賞。メジャーレベルのCD録音にも参加している。指揮者は西岡茂樹、合唱指導・ピアノ伴奏は西岡恵子が担当している。団員募集中。

## 神戸市役所センター合唱団



1963年11月神戸市役所に勤める若者が中心となって創立。“平和で健康的な音楽を多くの人々に広げる”ことを目的に掲げ、人々の願いや要求を音楽の源泉とした音楽演奏・教育・創作活動を展開している。

84年の『悪魔の飽食』(原詩／森村誠一、編詩／池辺晋一郎・神戸市役所センター合唱団、作曲／池辺晋一郎)、96年4月の阪神大震災鎮魂組曲『1995年1月17日』(同)の制作・初演をはじめ、これまで日本の音楽界を代表する三枝成彰氏、青島広志氏、新実徳英氏、木下牧子氏など多くの専門家に委嘱し新作を次々と発表するなど意欲的な活動を繰り広げている。

97年4月～7月には、県下被災地11ヶ所で阪神・淡路縦断人間復興コンサートに取り組み、鎮魂組曲を全ヶ所で公演。05年10月には新潟県小千谷市にて中越大震災復興記念式典のなかで、東北支援のため11年5月、12年3月と2年続けて宮城県南三陸町で避難所コンサート、1周年復興祈念コンサートを行ってこれまで100回を越える鎮魂組曲の演奏を行ってきた。99年には合唱団の震災からの立ち上がりを綴った『炎と涙の底から—鎮魂と再生のハーモニー』をかもがわ出版より上梓。13年には団創立50周年記念写真集「風のオラトリオ2」を作成。日本を代表する作曲家たちに21の合唱作品を委嘱、初演を成功させている。13年は50年記念委嘱作品としてイラク戦争の惨禍を描いた合唱組曲『きみたち』(蓬萊泰三、曲/信長貴富)を初演、好評を博す。96年神戸市文化活動功労賞受賞。01年関西合唱連盟・長井賞を受賞。07年「1・17メモリアル第1回合唱コンテスト」で最優秀の兵庫県知事賞受賞。08年神戸市職労社会貢献大賞「金賞」受賞(神戸市長・神戸市職労委員長連名)

## 太鼓衆団 輪田鼓



1989年創立以来、神戸を拠点に日本各地に伝わる民俗伝統芸能を、今日的なりズムも生かしてその芸能の“いのち”を伝えようと取り組んでいる。

91年から開始した太鼓研修生制度も2014年には第24期を迎、第4期以降に東立った研修生を中心に「輪太鼓」「さ輪らび」「輪ぐるま」「中級教室」が発足。輪田鼓、研修生の「わだつみっ子」を含めて総勢6教室約100名で神戸輪田鼓会を構成している。この他に輪田鼓が指導している「こうべ輪太鼓センター」教室生も2014年は15教室150人となり、あわせて現在約250人がこうべ輪太鼓センターの太鼓道場で太鼓の輪を通じて新しい夢体験を追求している。道場を中心に入材育成の一方、神戸市内外の様々なイベント、学校公演などにも出演している。

神戸市役所センター合唱団第38回演奏会 「対馬丸事件」「人間魚雷回天」～あの日から70年～

## 合唱構成 「二つの海 - 海に消えた二つの航跡 -」 をうたう市民合唱団員募集

### 公演概要

沖縄・14年8月24日(日)  
浦添市てだこホール

神戸・14年9月28日(日)  
神戸新聞松方ホール

指揮 / 池辺晋一郎 語り / 林隆三

### 練習のごあんない

■練習曲 合唱構成「二つの海」(全9曲) 混声合唱組曲「海のトランペット」

同「漁港ようたって」より抜粋

2014年5月10日(土)より公演日まで

毎週土曜日 18:30 ~ 21:00 (全20回)

※特別練習(池辺晋一郎先生に指導していただきます)

9/21(日) 15:00 ~ 17:30

■練習会場 神戸市兵庫区芦原通2-1-23 右圖参照

指揮 / 山本敬 ピアノ / 井上由子

月額料費 / 一般 5,000円

入団費 / 一律 2,000円(楽譜代別途)

※特別練習は別途参加費必要

駐車場は8台ありますが予約はできません

基本は2公演の参加ですが、どちらか1公演

のみの参加も可能です。

※沖縄公演は別途ソーラー料金が必要です。(委細入団のうえ)

お申し込み・お問合せ/神戸市役所センター合唱団 〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通2-1-23 TEL078-672-1015 FAX078-672-1014

<http://center-choir.jp> e-mail [kobe@center-choir.jp](mailto:kobe@center-choir.jp)



## ■木を植える

詩人・谷川俊太郎が、イオンの会長である岡田卓也80歳の誕生日に送った詩を、作曲家・木下牧子が作曲。“木を植える”ことで木という“いのち”を与え、そこからあらゆる“いのち”が繋がり、人間同士を結んでいく。現在「みどりのコンサート」のテーマソング的存在として、毎回演奏している。

## ■葉っぱのフレディ

第40回記念大阪府合唱祭の合同曲として、アメリカの著名な哲学者、レオ・バスカーリア作の絵本を作曲家・三善晃が再創造。2003年6月21日初演。春に生まれた葉っぱが、夏に人々に憩いを与え、秋に目を楽しませ、冬に散るまでの短い生命を通して“いのちの尊さ”“いのちの循環”“地球の環境”までをも描いている“いのち”的物語である。

## ■風を返して土を返して

2013年、日本のうたごえ全国協議会が日本のうたごえ65周年を記念して作品を委嘱。テーマは「うたごえで歌って欲しいメッセージ」これに応え、新実徳英氏は「つぶてソング」でお馴染み、和合亮一の『詩の黙礼』より、許可を得て編詩。日本のうたごえ祭典・おおさかで池辺晋一郎の指揮により全曲演奏された。

## ■生きる

第62回NHK全国音楽コンクール(1995年)高等学校の部の課題曲として作曲された無伴奏合唱曲。作曲の新実徳英氏は、題名の詩と詩集『六十二のソネット』の最終の詩から引用して構成した。生きること、命というテーマをわかりやすい言葉でうたった作品である。

## ■つぶてソング

本日のメインプログラム。2011年の東日本大震災後、福島県在住の詩人・和合亮一が余震と放射能の脅威を感じながら、部屋に閉じこもりツイッターで発信した「詩の礫(つぶて)」に友人の作曲家・新実徳英が悲しみと怒りを込め、そして魂の浄化を求めて作曲。現在全国で歌われている「つぶてソング」本演奏会では全12曲中6曲を抜粋演奏する。

【あなたはどこに】 相手の「存在」ではなく、「心の居場所」を気遣う「うた」。一声かけてもらうだけで人は「孤独」から解放されるものだ。

【フルサト】 原発事故によって次々と町を去っていく人々。そして彼も…残りたかったのに…カタカナで書かれた「フルサト」に重みを感じる。

【燃えあがろう】 こんな時こそ燃えあがろう！自分を見失わないように！明けない夜はないのだから!!という応援ソング。

【誰もいない福島】 自分の住む町は誰も居なくなってしまったけれど、雨が上がり、きらめく朝焼け。ああ、またここから始まるんだ…少し元気になる「うた」

【街を返せ】 原発を作り出した人々に対する「怒り」の「うた」。その街で生活する音や匂い、全てが「街」だったのに…返せ！返せ!!

【重なりあう手と手】 人と人とがつながる温もりをかみしめる「うた」そんな温もりでいっぱいだった故郷は…やっぱり夕暮れのようにやさしい色だったなあ…

## ■大地讃頌

1962年に大木惇夫の作詩で佐藤眞が作曲したセンター『土の歌』の終曲。この曲のみ独立して歌われる機会が多い。「たとえ地上にいかなる災厄がふりかかるとも、われわれは大地の本来の姿を思慕して祈りたい。壯麗なる山河、美しい草樹の営みを見て、大地の恩寵を感謝し、究極は創造主たる神に感謝して、大地の平和を祈りたい。祈らずにはいられない。」(大木惇夫)



# 出演者 (順不同)

## 神戸市役所センター合唱団・みどりのコンサート合唱団

ソプラノ								
池本富美子	前田みゆき	山田さよ子	樋口 玲子	中原 貴子	浅井 貴子	石田由美子	谷口 康子	
野坂 佳子	橋本恵美子	早見 奈々	村川 愛音	山内 淑子				
アルト								
真木多香美	北川久美子	近藤 千恵	岩崎 節子	尼崎美智子	東浦みちよ	金沢 和子	阪口公美子	
朝倉久美子	森下万智子	樺原みな子	村川 賀子	齋藤きよ子				
テナー								
北川 秀樹	田中 嘉治	大西 輝政	関 清志					
バス								
家中 一郎	村川 美文	宮本 駿	林 光秀	岸田 昇	嶋津 雅彦			

## 豊中混声合唱団

ソプラノ								
西岡 恵子	藤本 涼子	井元 奈津	橋本 千恵	鳥井 満代	金田 美幸	松尾 志乃	日野 梨紗	
河中 季子	鈴木 麻由	北口由佳子	河中 彩子	前田 萌衣	大西 順子	岡野なおみ	増田和希子	
岡崎満代								
アルト								
植松 規子	犬井 晶子	中祖 美和	佐野 環	内原由実子	片山 雅子	古根川史世	吉永 瑞美	
佐藤 純香	堤 香代子							
テナー								
西口 幸雄	岡本 弘信	犬井 俊彦	森 隆哉	山際 康弘	西川 和紀	糸野慎一郎	内田 拓也	
小泉 徹也	正橋麟太郎	山本 宇晃	八尋 俊輔	脇田 光				
バス								
仲野 均	塩崎 計吉	金田 秀美	神崎 正規	妙加谷義行	大西 貴士	大河内一男	三好 俊介	
伊藤 洋平								

## 豊中少年少女合唱団

ソプラノ								
山下絵梨奈	佐々木あゆみ	濱口 櫻子	板垣美賀子	山下 詩織	山本 彩瑛	鹿島 萌詩	岩井 優希	
下村 薫実	戸塚 和	堀江 真央						
アルト								
大竹沙結梨	福井 里歩	福井 那奈	岩井 千寛	大澤 千帆	佐藤優羽美	大家 広平	北島 美月	
清水 優成	箱山 紗英							

## 衛都連合唱団

ソプラノ								
高砂 保子	榎谷 邦子	川口 純子	久保千恵子	米山 幸子				
アルト								
矢達 董子	江後 尚子							
テナー								
西村 英毅								
バス								
光本 章	深津 土朗							

## 東播センター合唱団

ソプラノ								
大野 人美	切川真由美							
アルト								
永井 節子	吉田 雅子	岩本 洋子						
テナー								
岸本 成弘								
バス								
西本 好道								

## 太鼓衆団 輪田鼓

田中 嘉治	樺原みな子	真木多香美	家中 一郎	阪口公美子	山田さよ子	近藤 千恵	朝倉久美子	
浅井 貴子								

神戸市役所センター合唱団演奏会年表・専門家への委嘱作品 ※太字は団の委嘱作品

開催年月日	会場	演奏会	メイン作品	作詞	作曲	ゲスト
1967.12.13	葺合公会堂	第1回演奏会	合唱構成「この子らのために」	集団創作	集団創作	
1969.11.20	県民会館	第2回演奏会	創作構成詩 「看護婦夜勤制限闘争のために」	集団創作	集団創作	
1973.5.15	県民小劇場	第3回演奏会	10周年記念創作構成詩「ボク歩きたい」	集団創作	集団創作	
1975.2.27	神戸文化中ホール	第4回演奏会	レクイエム「眠れ幼き魂」			
1976.5.13	神戸文化小ホール	第5回演奏会	春の使者			
1977.6.20	神戸文化中ホール	第6回演奏会	混声合唱組曲「蔵王」			
1978.10.19	神戸文化大ホール	第7回演奏会	15周年創作組曲「うたごえよ走れ」	集団創作	集団創作	
1980.6.20	神戸文化中ホール	第8回演奏会	音楽構成詩「大きな樹」			
1982.11.15	神戸国際会館大ホール	森村誠一とともに平和を考える音楽と講演の夕混声合唱組曲「平和の譜」				G/森村誠一
1983.11.5-6	神戸文化中ホール	第9回演奏会	混声合唱組曲「パッセージに見る街」 -神戸大空襲をうたう-	車木蓉子	多田泉	
1984.11.23	神戸文化中ホール	第10回演奏会	混声合唱組曲「悪魔の飽食」	森村誠一	池辺晋一郎	G/森村・池辺
1985.12.12	神戸国際会館大ホール	第11回演奏会	混声合唱組曲「白い亀裂」	下里正樹	すずきさよし・寺原伸夫	
1986.11.14	神戸文化中ホール	第12回演奏会	混声合唱組曲「初恋物語」	森村誠一	池辺晋一郎	G/池辺晋一郎
1987.11.30	国際会議場メインホール	第13回演奏会	混声合唱組曲「いのちの賛歌」	早乙女勝元	寺原伸夫	
1989.4.18	神戸文化中ホール	第14回演奏会	25周年記念混声合唱組曲 「海のトランペット-対馬丸の子どもたち」	車木蓉子	池辺晋一郎	G/池辺晋一郎
1991.10.23	神戸文化中ホール	第15回演奏会	混声合唱組曲「未来たちの詩」 -アフリカの魂-	ムス・タキ・ムフーリ 訳詞/安宅温	青島広志	G/青島広志
1992.12.8	神戸文化中ホール	第16回演奏会	混声合唱組曲「いのちのふるえ」	阪口穰治	三枝成彰	G/三枝成彰
1993.11.17	神戸文化大ホール	30周年記念 第17回演奏会	カンタータ「悪魔の飽食」 混声合唱組曲「初恋物語」			大阪センチュリー交響楽団
1994.11.24	神戸文化中ホール	第18回演奏会	混声合唱組曲「がんばれコータ」	車木蓉子	松永勇次	G/松永勇次
1996.4.7	神戸文化大ホール	第19回演奏会	阪神大震災鎮魂組曲 「1995年1月17日」	森村誠一	池辺晋一郎	G/森村誠一 池辺晋一郎
1997.11.16	神戸文化大ホール	35周年記念 I 第20回演奏会	カンタータ 「海のトランペット-対馬丸の子どもたち」			指揮/ 池辺晋一郎
1998.12.6	神戸文化大ホール	35周年記念 II 第21回演奏会	混声合唱組曲 「滄海ようたって-人間魚雷回天-」	車木蓉子	新実徳英	G/新実徳英
1999.12.8	神戸文化中ホール	第22回演奏会	混声合唱組曲「いのちのふるえ」			G/三枝成彰
2000.12.23	神戸国際会館こくさいホール	第23回演奏会	ピアノと太鼓のために 歌びとのための序曲	立村勲	池辺晋一郎	G/池辺晋一郎 林英哲
2001.11.11	神戸文化中ホール	第24回演奏会	ボーリス・スタツェンコとともに ロシア民謡をうたう			G/ボーリス・スタツェンコ・小野光子
2002.12.9	神戸新聞松方ホール	第25回演奏会	混声合唱組曲「沖縄の雲へ」	丸木政臣	池辺晋一郎	
2003.11.30	神戸国際会館 こくさいホール	第26回演奏会	悪魔の飽食全国縦断コンサート神戸公演 正義の基準			G/森村・池辺 榎木孝明
2004.11.13-14	神戸新聞松方ホール	第27回演奏会	合唱構成「二つの海」全10章 最終章・生きぬくいのち	車木蓉子 木下牧子	G/池辺晋一郎、新実徳英 木下牧子、常田富士男	
2005.11.23	ポートピアホール	第28回演奏会	オケストラ/カンタータ「1995年1月17日」			G/森村・加藤剛
2006.2.19	県立芸術文化センター大ホール	わが街永遠 にコンサート	阪神大震災鎮魂組曲 「1995年1月17日」			G/森村・池辺 南風洋子
2006.10.15	神戸新聞松方ホール	第29回演奏会	合唱構成「誓い」			G/大原譲子
2007.12.9	神戸新聞松方ホール	45周年記念 I 第30回演奏会	混声合唱と児童合唱のための 「戦争で死んだ兵士のこと-」	小泉吉宏	新実徳英	G/新実徳英 小泉吉宏
2008.11.29 30	神戸新聞松方ホール	45周年記念 II 第31回演奏会	混声合唱曲集「いのちと、こころと -金子みすゞの詩による7つのうた-」	金子みすゞ	池辺晋一郎 矢崎節夫	G/池辺晋一郎 矢崎節夫
2009.11.15	神戸新聞松方ホール	45周年記念 II 第32回演奏会	混声合唱とピアノのための 「いのちの木を植える」	谷川俊太郎	木下牧子	G/木下牧子
2010.11.19	神戸文化ホール中ホール	第33回演奏会	混声合唱組曲「火垂るの墓」	車木蓉子	新実徳英	G/新実徳英
2011.11.25	神戸新聞松方ホール	第34回演奏会	混声合唱曲集「魂のいちばんおいしいところ」	谷川俊太郎	池辺晋一郎	G/池辺晋一郎
2012.11.11	神戸新聞松方ホール	50周年記念 I 第35回演奏会	混声合唱組曲「いのちのふるえ」			G/三枝成彰
2013.11.30~ 12.1	神戸新聞松方ホール	50周年記念 II 第36回演奏会	混声合唱組曲「きみたち」	蓬萊泰三	信長貴富	G/信長貴富